資料　６

調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備に伴う

基本構想

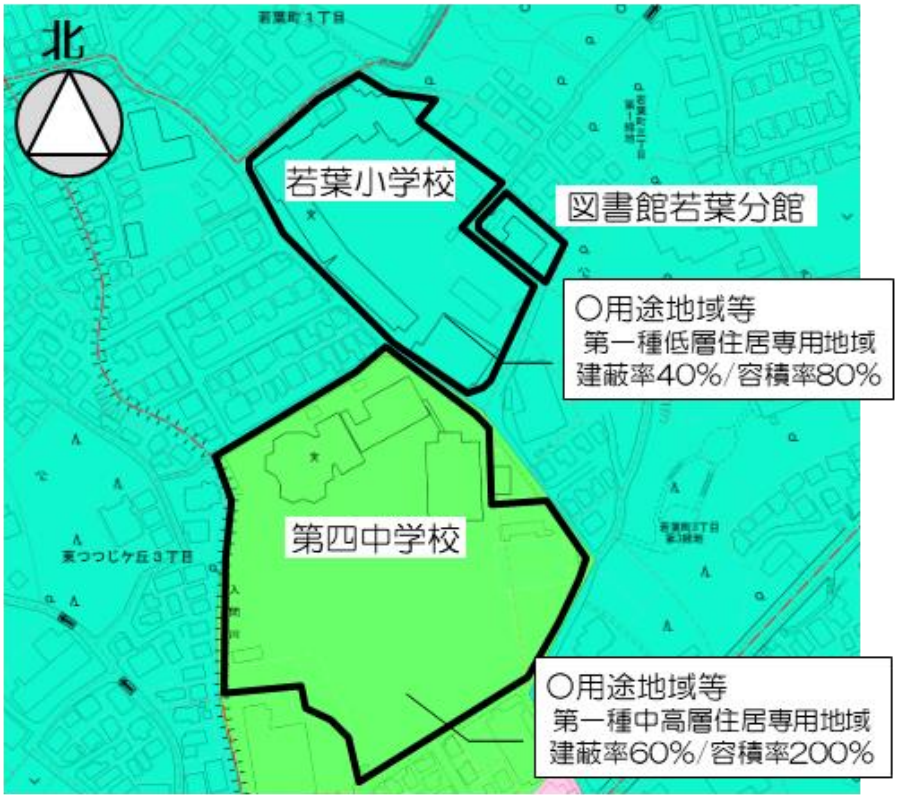
（概略構成イメージ）

1 背景～現状と課題～

2 施設整備に至る経緯

3 現施設の状況

○ 敷地概要



○ 施設概要

令和２年度末時点

施設名	所在地	敷地 (㎡)	建物名称	延床面積 (㎡)	経過年数	全体面積 (㎡)
若葉小学校	若葉町3-17-5	9,350	北校舎	1,556	61	6,912
			西北校舎	2,084	55	
			西南校舎	1,274	48	
			体育館	669	48	
			仮設校舎	253	3	
			仮設校舎	839	0	
			プール附属屋	101	27	
			給食室増築	136	2	
第四中学校	若葉町3-15-1	18,667	西校舎	3,064	56	6,492
			体育館	856	53	
			東校舎	2,441	50	
			プール附属屋	131	22	
図書館若葉分館	若葉町3-16-13	728	若葉分館	515	46	515
					計	13,919

4 基本方針・基本方策 ⇐ 基本構想

※ 施設整備に関わる基本方針を踏まえた検討

(1) 高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な教育環境の整備

○ 小・中学校の連携推進につながる，新しい施設の特徴を活かした特色のある学校づくり

より具体的な方向性等について検討

○ 対話的・協働的な学習として多様な学習スタイルに対応した学校づくり

より具体的な方向性等について検討

○　一人一台端末環境のもと，個別最適な学びの環境となる学校づくり

より具体的な方向性等について検討

(2)　健康的かつ安全で豊かな教育環境の確保

○　ポストコロナの「新たな日常」の実現に向けた学校づくり

より具体的な方向性等について検討

○　だれもが安全・安心に利用できることに加え，防犯面にも配慮し，児童・生徒が良好な教育環境の中で学習できる学校づくり

○　特別な支援が必要な児童・生徒一人一人の能力を最大限伸ばすため，適切な支援が行うことができる学校づくり

○　食育の重要性に鑑み，食物アレルギー対策を基軸とし給食環境の充実を図る学校づくり

(3)　地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備

○　地域コミュニティの拠点となる学校づくり

○　地域開放を前提とし，地域との関わりを持った学校づくり

○　避難所施設として防災機能・体制強化を図る学校づくり

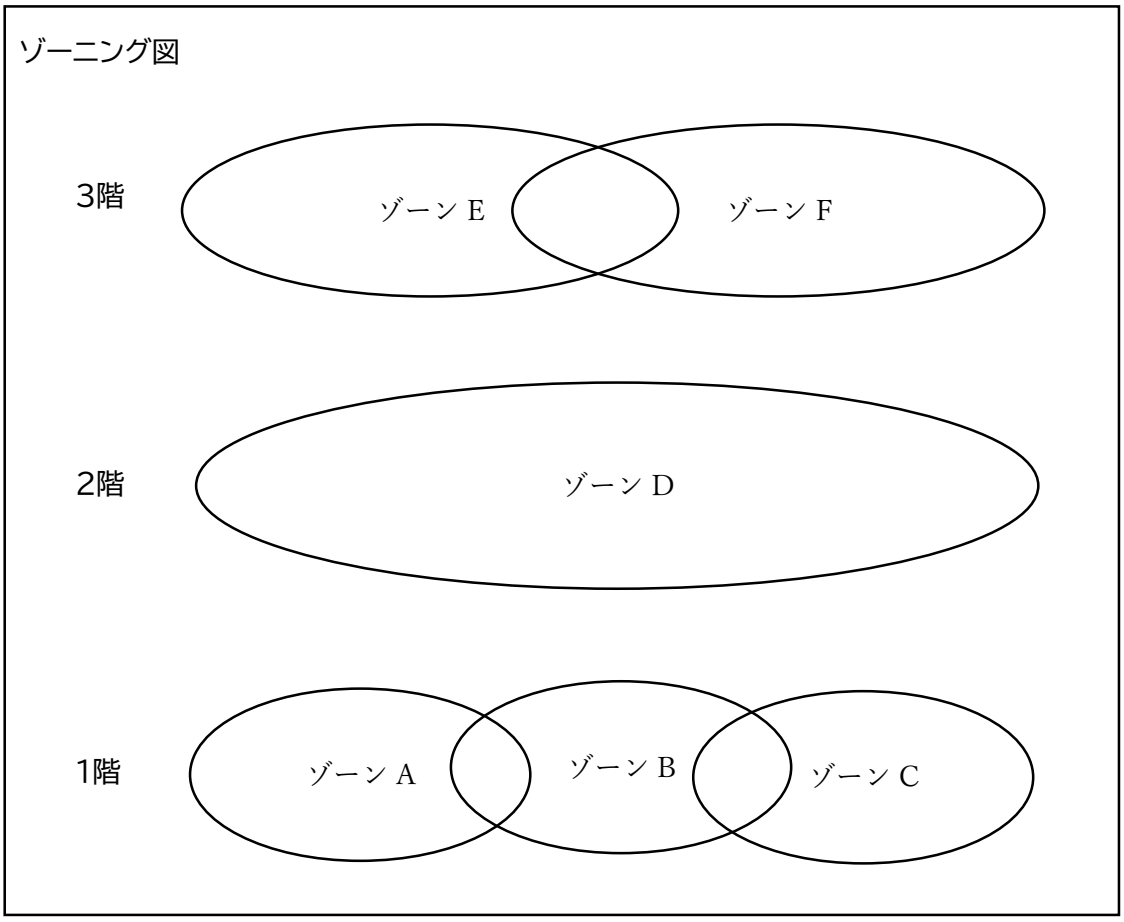
○　学校施設以外の公共施設との施設複合化を進める学校づくり

5 配置計画の検討

	プランＢ	プランＣ	プランＤ
メリット			
デメリット			
工事費概算			
工事期間			
校庭の広さ			
○○○○			
○○○○			

比較検討表の作成

6 ゾーニングプランの検討



7 事業スケジュール(予定)

<table>
<tr><th></th><th>令和４年度</th><th>令和５年度</th><th>令和６年度</th><th>令和７年度</th><th>令和８年度</th><th>令和9年度</th></tr>
<tr><td>若葉小学校</td><td rowspan="3">PFI(*1)導入の検討
事業者選定</td><td rowspan="3" colspan="3">基本計画
基本設計・実施設計
校舎築造工事</td><td>新校舎供用開始</td></tr>
<tr><td>第四中学校</td><td rowspan="2">既存校舎解体
外構整備</td></tr>
<tr><td>図書館
若葉分館</td><td>※移転</td></tr>
</table>

＊　ＰＦＩ（Private Finance Initiative）とは，公共事業を実施するための手法の一つで，民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のことです。

8 参考資料

○ アンケート調査結

若葉小学校

第四中学校